

ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制の確保

- 新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状について、被接種者は、まず、身近な医療機関(接種を受けた医療機関や、かかりつけの医療機関等)を受診し、受診した医療機関は、専門的な対応が必要であると判断された場合に専門的な医療機関を紹介。
- 専門的な医療機関としては、総合診療科又は複数の分野の内科診療科を有する等、総合的な診療ができる体制を有することや、医療アクセスの観点から地域ごとに確保されている必要がある。

